

— 住職交替記念事業報告 —

壇信徒会館の耐震補強工事

および本堂屋根修理等の完成

護持会会長 原 一彦

昨年十月廿九日道場建物（現檀信徒会館）耐震構造改築工事に着手、十八畳の間三部屋分と八畳二部屋の広さの床を抜き、土間を鉄筋コンクリートで固め、縦横の側壁を作り筋交いを入れ、天井裏には対角線に張りを入れ、床は全面フローリングに仕上げ、多目的ホールとして改装され、今年一月末完工いたしました。

このホール（大広間）は法事後の会食やコーラス・舞踊等のお稽古会場、各種サークルの会合や勉強会等、多目的に利用できます。少人数での家族葬を営むには最適です。

家族葬

家族葬については、特定の葬儀社を指定しているわけはありませんが、お寺が長年お付き合いのある、典礼社・仏光社・ナム企画の三社には、禅昌寺護持会員価格を設定していただいております。ご依頼が在れば資料をお送りします。

お寺での家族葬は他の客の煩わしさもなく家族だけでしんみりと落ち着いた葬儀が営めます。費用もお寺へのお礼も含めて五〜六十万円程度から納めることができます。

結婚披露宴

最近の結婚式場は郊外に多くあります。自分たちだけの手作りの披露宴には、太田川・武田山を望む素晴らしいロケーションと、しずかで落ち着いた雰囲気は、他では得られない結婚披露宴が演出できるでしょう。

檀信徒会館として皆さんの交流と集いの場として大いにご利用下さい。



改修工事の終わった檀信徒会館



檀信徒会館内大広間



円卓式テーブルで法事後の会食会場として



檀信徒会館での葬儀

倉庫新築工事

三月三日新築工事着工

当初の計画では建物の一階が車庫並びに外用便所となっていました。いわば公衆便所が本堂すぐ横に在るのは管理上問題があるということから再検討され、外用便所は、藤棚のとなりに障害者対応の便所として独立させ、駐車場スペースを少しでも広くし、境内に乗り入れられた車が回転しやすいように境内地にあがったところを、ロータリーのように回転しやすい空間とするよう計画が変更されました。



本堂の隣に完成した倉庫外観

本堂屋根修理



不具合が見つかった従来の屋根



完了した本堂の屋根修理

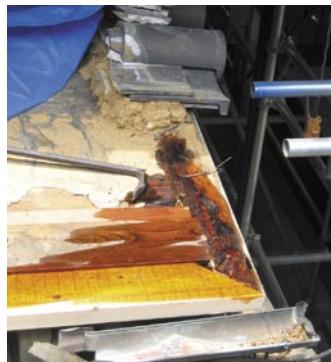
五月七日修理工事着工

本堂屋根修理工事は当初屋根部分の、瓦の損傷が目立つため尾根部分のみ改修の予定でございました。足場が組まれ屋根全体を観察したところ、丸瓦が部分的にずれており、この際手当をしておく必要があると指摘され、急遽丸瓦を全部葺き直した場合の費用の見積もりを取り、責任役員・

事業委員長・奉賛会会計が協議しました。

事業委員長のご親戚に広島藩の時代からの伝統的瓦職人の方があり、わざわざお越し下さり屋根を点検してくださいました。

ご意見として屋根の端の二枚をはがして針金で定着する工事をするだけでもつであるうというご意見を戴きました。



瓦の破損した部分は、腐食が始まっていた



新建材の「なんぼん」で瓦を接着する

この時点で部分修理の場合との経費の差は約三百二十万円の差ではありましたが、役員間で協議を重ねた結果、本堂というお寺の一番大切な建物で在ることを重視し全面改修することを決定しました。急遽概算見積もりされた金額は四百六十万円程でしたが、結果三百八十万円で納めることが出来ました。部分修理の場合の経費との差額は二百五十万円程で納まることになりました。六月二十五日第一期工事を完了しました。